

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)	◎	一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・県外からの注文が多くなっている。
	◎	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・時節柄、月曜日から木曜日はふだんどおりだが、金曜日、土曜日に人が出ており、特に当店では高額品が売れ、客単価が上がっている。また、近所の飲食店には列ができしており、久しぶりに繁盛している状況が分かる。特に旅行者が多くなっている。
	◎	百貨店（買付担当）	お客様の様子	・決して購買意欲が高いとはいえないが、月を追うごとにグループや家族連れでの来店が増加している。少しずつではあるが外出用の衣料品や身の回り品、靴等が回復している。
	◎	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍になってから徐々に来店する客が多い。高額品を含んだまとめ買いが多くみられ、今月の売上増加の要因になっている。
	◎	その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・寒波の影響で冬物商材であるダウンブーツや長靴の動きが活発である。単価の高い商品の動きが良い。
	◎	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・例年の12月と比較するとやはりまだまだ来客数は少ないが、前年あるいは秋までの状況に比べれば多少客が戻りつつある。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年を割っているが販売量の動きが良く、1人当たりの買上点数が前年の1.2倍くらいになっている。
	○	一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・客先の飲食店にも少人数ではあるが予約が入るようになり、販売量もやや上向きになってきている。
	○	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・年末につき駆け込み需要が発生している。
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・来客数が2か月連続で改善している。新型コロナウイルス発生前の水準には届いていないものの、客が外出する機会が増えており、それに伴ってファッション、服飾関連の需要も高まっている。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年を超えるペースで改善している。来街もあり、にぎわいがみられ、定量的にも定性的にも良くなっていると考えられる。
	○	百貨店（経営者）	販売量の動き	・高額商品は前月から引き続き堅調に推移している。気温の低下もあり、防寒衣料等アパレルも活発に動いている。お歳暮商戦は微増である。新型コロナウイルス新規感染者数も落ち着き、前年と比べ店頭受注が増えてきている。逆にオンライン受注は減少している。
	○	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ふだんの客単価はほとんど変わらないが、年末の予約商品は前期を大きく上回るペースで予約が入っている。帰省客が前年より多いことによる動きとみられる。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの落ち着きで規制が緩和され、夜間の来客が増加している。夕方には酒関連のドリンクが売上を回復してきている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上の低下、最低賃金の上昇、光熱費、除雪代の負担等で非常に厳しい。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・単価の増加により売上は微増傾向であるが、来客数の減少は継続している。
○	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・秋口と比べ年末商戦の動きは良く、単月としては売上も前年より伸長している。	
○	コンビニ（店長）	来客数の動き	・地域独自のクーポン券発行があり、購買力が高まっている。また、新型コロナウイルス感染の収束感も、外出行動に反映したようである。	
○	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・お歳暮商戦では、法人客では多少減少したものの、個人客では産直品が増加し売上増加に寄与している。	

○	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・今年成人式を迎える方で、入学時にスーツを作っていない方が多いため、成人式の客が例年以上に来ている。イベントごとが再開されるようになり、スーツ需要が増加している。
○	衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・ボーナス商戦、クリスマス商戦では、例年みられる自分への御褒美需要がさほど多くなかった。消費に対して思った以上に慎重な行動をとる消費者が多いようである。
○	衣料品専門店 (総務担当)	単価の動き	・新型コロナウイルス新変異株の発生はあるが、新型コロナウイルスの感染状況も以前よりは落ち着き、来客数と客単価が上がっている。
○	乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・車両遅延が続いていた数か月前と比べ、直近では登録台数の戻り傾向が顕著である。
○	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・オーダーメイド商品の納品があり、販売量がある程度確保できている。
○	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が一時期より増加しており、小物仏具の販売が順調である。県内の新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、高齢者が買物に動いた結果とみている。
○	その他専門店 [酒] (経営者)	来客数の動き	・最悪の状態からは脱したとみられ、飲食店の数字は若干上向いている。しかし、一般消費が逆に低調で全体的に回復度合いが低い印象を受ける。
○	その他専門店 [白衣・ユニフォーム] (営業担当)	販売量の動き	・人の流れが出てきているに伴い、飲食店を始め観光関係も連動して動きが出てきた。ただ、すぐに景気に影響が出るかはまだまだ分からない。今はほんの少しだけ良くなってきたという感じである。
○	その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	お客様の様子	・11月から来客数がかかり戻ってきている。クリスマスから年末にかけての消費については、もう一段上乗せしきれないという感じがある。
○	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・クリスマス、年末の来客数は例年どおりの数字までは全くいっていないが、3か月前よりはまだ良い。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・コロナ禍前の12月の忘年会の忙しさではないが、今年のなかでは一番忙しい。例年の7割くらいまでは戻ってきている。
○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年よりは大人数の宴会という形での来客は少ないが、少人数の客は来てくれている。
○	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊費に対しての優遇処置と新型コロナウイルス感染の収束により、来客数は上向いている。
○	観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている。
○	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株拡大の不安があるものの、新規感染者数の落ち着きもあり、客の動きは良くなってきている。
○	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・県民割等の効果により3か月前と比べ約115%伸びている。
○	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・旅行業につき、人流拡大傾向と販売量がある程度比例している。また、前半は人流移動が地元県や隣県といった近場にとどまっていたものの、10月中旬以後は飛行機や新幹線等を利用した広域の人流が著しく増えており、販売量にも貢献している。
○	タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き 来客数の動き	・年末で人の動きが多い。 ・新型コロナウイルス新規感染者数が激減し安定している状況のなか、年越しの時期に入り、少人数での旅行、年末必需品の買物などに老若男女の動きが活発化してきている。よって、タクシー利用についても営業回数や1乗車単価が増加傾向にある。
○	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスも落ち着き始め、消費量が増えているような感じがある。
○	遊園地 (経営者)	来客数の動き	・土日のみ6日間の営業であったが、新型コロナウイルスの感染が沈静化し気温も高めで推移したことから、前年より増加した。
○	競艇場 (職員)	来客数の動き	・大きなレースがあったため来客数が非常に増えた。売上金額はさほど大きくはないが、ここ数か月のなかでは一番良くなっている。

○	美容室（経営者）	販売量の動き	・12月に入ってすぐは前月と余り変わりなかったが、10日過ぎくらいからは、来客数は変わらないものの商品券の売上が急激に上がっている。
○	美容室（経営者）	単価の動き	・出掛けたり人と会うなどの活動が再開したことで、ヘアカラーをしたりワックスを買ったりする人が増えているため、客単価が上がっている。
□	商店街（代表者）	お客様の様子	・県内では新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの日が続き、飲食店を中心に客足が戻りつつある。しかし、新型コロナウイルス新変異株の感染報道や原油価格高騰による商品の値上げ等により、景気は横ばい状態である。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・平年どおり年末にかけて来客数が増えている。ここ10年のうち、新型コロナウイルス発生前にも今年より売上の悪い12月があったことを考えれば平年並みである。しかし、新型コロナウイルスの悪影響を考えればやや良い。
□	スーパー（経営者）	単価の動き	・12月は平均1品単価前年比がほぼ前月、前年と同じ推移になっている。食品メーカー等仕入先で原材料・物流費等コストアップ要因の価格転嫁は始まっているが、全体的には食品の買上価格上昇には至っていない。代替品の購入や社内の価格訴求販促などのためとみられる。しかし、前月同様、来客数推移以上に買上点数の推移で落ちてきている。消費の傾向は依然変わらない。
□	スーパー（営業担当）	お客様の様子	・Go To Eatキャンペーンプレミアム付食事券の駆け込み需要があり、その期限までは内食への支出が抑えられていたようであった。その後も緊縮傾向からか客単価は前年を下回っている。年末は帰省が増える予想で内食が回復することを期待したが、新型コロナウイルス発生前の買物状況には戻っていない。
□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前とほとんど変わらないが、下がったままの状態が横ばいの状態になっている。新型コロナウイルス新変異株が出てきたことにより、自粛状態に戻ってまた動かなくなっているというのが現状のため、外に出歩く機会が少なくなっているとみられる。
□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ワクチン接種が進み、人の動きが良くなるかと思ったが、思ったほど人が動いていない。
□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・白物家電などの単価は前年と変わらず、動きも買換え需要を中心に平年並みである。暖房商品など季節商材は年末にかけてやや動きが出てきたが、テレビなど黒物家電は前年比95%程度と実績が悪くなっている。
□	家電量販店（従業員）	販売量の動き	・高単価商品の販売量が余り伸びていない。小物に関しては少しずつ動きが活発になってきている。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・法人の受注は伸びてきているが、個人の受注がなかなか伸びない。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・12月中旬まで雪の影響もなかった。夏以降、市場環境に関係なく、新規来場件数は前年と比べ減少している。
□	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ニュースなどで部品供給が改善されているように発表されているが、新車の配車はさほど変わらない。
□	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前の9月は休前日と平日の動きにはっきりとした差が出ており、休前日だけ宿泊者が多かった。12月も同様の傾向がみられる。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・前月同様ボーナス時期ではあるが、消費動向が鈍化している状況である。特に小売業の大幅割引合戦が目立ち、消費は伸びるが企業の利益が不安材料である。景況感は変わらない。
□	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は少なくなっているが、新型コロナウイルス新変異株が増えつつあり、予断を許さない状況が続いている。特に飲食業に客足が戻ると期待されたが、慎重になっており期待したほどにはなっていない状況である。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。

□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・年末キャンペーン等の加入促進イベントを展開しているが、反応が余り良くない。チラシや新聞広告にも予算を大々的に投入しても新規加入者が伸び悩んでいる。人の動きは少しずつ活発になっているが、量販店の店頭や電話での問合せは少ない。
□	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が多少落ち着いてきたと思っていたが、新型コロナウイルス新変異株が発生し、先行きが不透明になってきている。
□	観光名所（職員）	お客様の様子	・団体の予約は新型コロナウイルス新変異株の拡大とともに若干減ってきている。2～3人で動く個人客は増えてきており、良い傾向である。ただし、良い悪いの判断は難しいところである。前年の今頃まではGo Toキャンペーンのクーポンが利用されて売上は良かったが、現在はクーポン等がないため、前年の売上には到達していない。
□	住宅販売会社（経営者）	それ以外	・受注見込み客の予定は確定している。
□	その他住宅 [リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器については暖房器具販売、設備工事が増えている。リフォームについては、納品が遅れていた資材や機器が手配できたことで増改築工事が増えている。
□	その他住宅 [住宅展示場運営会社]（従業員）	来客数の動き	・前年と前月のいずれとの比較でも、来場者数、新規率に変化はない。
▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・少し安定してきていた新型コロナウイルスの感染が微増になり、年末年始がまた自粛傾向になっている。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前と比較して客単価が低下している。外食機会が増えて、家庭内食の需要が低下している。
▲	スーパー（店長）	販売量の動き	・当社全体の11月の売上は前年比100.7%であった。12月の現時点では99.4%、約1%の影響がスーパー全体に出ているという状況である。
▲	スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年比99.9%とほぼ前年並みだが、客単価が97.9%と苦戦しており、結果売上も前年比97.7%と落ち込んでいる。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・年末商戦に期待していたが、予想よりも売上が悪い。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・買物に来ている客の表情が非常に暗い。何かを我慢しながら生活しているといったような顔をしている。明るい表情や会話が途絶えているという感じがする。
▲	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・全国的に新型コロナウイルスも少し落ち着いている状況ではあるが、まだまだ出掛ける気分にならない。また、忘年会等の自粛もあり、洋服の購買意欲にブレーキが掛かったまま緩んでいない。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・小売価格の高止まりによる節約志向が強く、新型コロナウイルスの影響で減少した前年の実績すら超えていない。
▲	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・修学旅行を中心とした教育旅行団体は出発日変更後の案件が予定どおり出発しているものの、一般団体は前月同様に動きがない状態が継続している。県民割を利用した県内宿泊予約についても個人客の動向は前月比マイナスの傾向にあり、旅行業での景気は下向きにある。
▲	タクシー運転手	お客様の様子	・乗客との会話のなかで、景気は前と余り変わっておらずそれほど良くないという話をよく聞く。
▲	美容室（経営者）	来客数の動き	・寒くなると客もなかなか来なくなる。来客数が少なくなっている。
▲	その他サービス [自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・石油製品や鉄製品など様々な品物の値上がりにより、年末にもかかわらず売上が伸びない。
▲	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・半導体不足や海外からの輸入部材、建材の遅れに伴い、工事期間の延長などが発生し始めてきた。

	×	一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・前年末は爆発的に売れた商材があったため、今年は販売量が極端に落ち込んでいる。ベストセラーがほとんどなく売上を押し上げる商材に乏しいため、売上に相当なダメージがきている。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・原油高に伴い、ガソリン価格、灯油価格が高止まりをしている。なおかつ、原材料の値上げによる食品の値上げが続いているため、日々の生活のなかで節約、儉約志向が更に強まっている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数減少により、10月には景気の上昇も見込めたが、年末年始に向けて新型コロナウイルス新変異株への警戒から人の動きが悪くなってきている。
	×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年比較で来客数と単価が下がっている。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・良くなりかけたが、新型コロナウイルス新変異株の関係で急に悪くなってきている。
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・エリア内で忘年会向けの応援キャンペーンがあったため、予約がたくさん入り夜の部も飲食店はにぎわった。しかし、業者の話では他のエリアの人も利用できるため、市内がにぎわった分他のエリアが多少薄くなったということである。動ける分母はまだまだ少ないようである。
企業 動向 関連 (東北)	◎	金融業（広報担当）	取引先の様子	・県による人流抑制施策が9月に終了して以降、宿泊・観光関連が回復基調にある。原料や部品の調達難が一部業界に影響を与えているが、年末に向けて個人消費の盛り上がりが見られる。
	◎	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年とは異なり帰省需要が回復してきたことによる消費が生まれている。
	○	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・J A出荷分のりんごについて一部が精算されてきたが、前年よりも2割程度高くなっている。
	○	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・歳暮需要は堅調である。加えて、人の動きが良くなってきた影響で駅、空港の売店の売上也アップし、前年より売上は良くなっている。しかし、原料以外でも資材や物流費のアップが収支的には厳しい。
	○	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染が沈静化している状況で、平日は徐々に、土日はイベントの影響もあって前々年の売上にも劣らない伸びになっている。ギフトや土産品の動きも好調である。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比で30%増加、前々年比で100%くらいまで戻っているが、本業以外での売上が貢献している。
	○	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や素材の高騰などの影響が多少あるものの、受注は順調である。
	○	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月も売上では前年を上回りそうであり、これで3か月連続で前年を上回ることになる。ただし、前々年比較だと10～12月合計では93%であり、まだまだ景況感は低水準である。
	○	広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・12月に入り新規感染者数がほとんどみられない状況と、繁華街に人が戻ってきたことを踏まえて、消費意欲を促す広告出稿が増えてきた。
	○	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・具体的な受注には至っていないものの、新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、業況が上向きになっているようである。
	○	公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。サービス業、飲食業、小売業の業績が回復傾向にある。新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、客足が戻っている。建設業等は一定程度の利益確保をしており、大きな変動はない。全体的な景気はやや良くなっているとみられる。
	□	食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と変わらず、販売量が前年比2～3%減少しており、悪い状況に変わらない。

	□	出版・印刷・同 関連産業（経営 者）	取引先の様子	・受注量の回復、販売量の改善がない状況下で、原価、仕 入れコストの価格交渉が先行している。輸送コストの上昇 とあいまって売上が伸び悩み、経費負担が重くのしかかっ ている。
	□	電気機械器具製 造業（企画担 当）	取引先の様子	・半導体分野のカスタム製品の開発依頼に大きな変化はな く、標準品の開発周期も従来並みをキープしている。
	□	電気機械器具製 造業（営業担 当）	取引先の様子	・取引先との受注量や受注金額に大きな変動がない。
	□	建設業（従業 員）	取引先の様子	・受注は相応にあるが、資材価格の上昇が懸念される。12 月下旬からの寒波で工事は滞り気味である。
	□	通信業（営業担 当）	取引先の様子	・客の反応が冷え込んでいるなかで、これからの受注を左 右する新規設備投資があり明るい状況にない。
	□	経営コンサルタ ント	それ以外	・年末や正月といった季節特有の消費の盛り上がりが見え ない。
	□	その他企業〔企 画業〕（経営 者）	それ以外	・町内の温泉街への客足が半年前と比較して増加したもの の、前月の宿泊予約数からは期待したほどの伸びはみられ ず、やや低調で安定している。日帰り客はいるものの滞在 時間が短く、土産店も少ないことから、財布のひもがなか なか緩まない。
	▲	農林水産業（従 業者）	受注価格や販売 価格の動き	・米価下落の緊急対策が市や農協等によって発動された が、それでも価格下落の悪影響を払拭するには全く足りな い。
	▲	窯業・土石製品 製造業（役員）	受注量や販売量 の動き	・今年は前年比ではほぼ毎月マイナス10%で推移しており、 需要の盛り返しがみえない。
	▲	建設業（従業 員）	受注量や販売量 の動き	・今月は主だった受注がなかった。
	▲	コピーサービ ス業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・半導体の品不足によりメイン商品の入荷遅れが解決して おらず、軸となる商品がない分苦戦している。
	×	その他非製造業 〔食料品卸売 業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先は県内や一部近隣の地場産品を扱っている中小 企業や零細企業のスーパーだが、量販店やディスカウント ストア、コンビニエンスストア、ドラッグストアの出店で 非常に苦慮しているのが現状で、非常に景気が良くない と言っている。
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・あらゆる業種、業界で求人意欲が活発化してきている。 サービス業、小売業、製造業、塾、物流などで求人動き が出てきている。
	◎	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・採用活動は各社活発化している。今まで採用活動を抑 えていた小売・飲食領域の企業からも新型コロナウイルスの 影響で人員減を行った上で、復活傾向にある市況を見据 えての採用が進んでいる。
	○	アウトソーシ ング企業（社員）	それ以外	・来年度に向けて予算要求を自治体に行っているが、反 応が良いとみられる。
	○	新聞社〔求人 広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、飲食店・宿 泊業を中心に動きがみられる。
	○	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・新規求人数が極端に減少している業種がなくなった。 厳しかった宿泊飲食サービス業も増加している。
	○	学校〔専門学 校〕	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数も落ち着き、経済全 体の活動が回復している。その要因としては、飲食業界や 観光業界の活動の回復が大きいようである。
	□	人材派遣会社 (社員)	周辺企業の様子	・特に変化はなく、この先も良い傾向がみえていない。
	□	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・10月に求人数がピークを迎え、そこからは横ばいであ る。
	□	新聞社〔求人 広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の掲載は前年より若干減少している。その他 広告の申込みも停滞感があり、年末の人の割に広告の動 きは鈍い。景気の影響なのか、業界特有の問題のせいなの か判然としない。
□	職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・大型ショッピングセンターの出店や洋上発電工事に よって、求人数が増えている。さらに、作業員の食事や 宿泊需要で飲食、宿泊業が好況である。	

□	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人数だけでいえば前年同期を上回り、製造業についてはコロナ禍前の水準に戻りつつあるが、それに応じられる求職者がおらず労働市場が停滞している。職業相談で来所している人の数は夏場よりも減っているものの、企業の採用意欲が高いため就職件数はそれほど下がっていない。
□	民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前月同様、人材を求める企業からの問合せが定期的にある。
▲	*	*	*
×	—	—	—